

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	八王子美山学園	受審(実施)年度 (※)	平成30年度	施設番号	41 - 0015
-----	---------	-----------------	--------	------	-----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成30年度)	改善計画 (平成30年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成31年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和2年4月30日時点)
事業継続 計画の策 定と想定 訓練と検 証 について	災害発生時の対応方法や 訓練等を実施しているが、 事業継続計画（BCP）の 策定は急務であると認識 しており、施設の特性に応 じた計画の策定に取り組 む。	平成31年度の当法人事業 計画書において、本年度の 主な施策に「事業継続計画 （BCP）」の検討・作成 を盛り込み、理事会におい て承認されている。このこ とから、31年度の重要課 題として取り組みに着手 し、課題の分析を行う。	1 実施済み 2 実施予定 (令和3年中) 具体的には以下のとおり です。 課題の把握、分析を行 い、検討過程において職員 の意見等を踏まえたくえ で検討を進める。	1 実施済み (令和 年 月) 具体的には以下のとおり です。 実際に体験し、使用頻度の 高さが予想される台風時 のBCP策定に着手してい るが、まだ完成には至っ ていない。
研修成果 の活用 について	毎月行われている勉強会 に加え、外部研修に参加 した職員が会議の場で、研 修報告を行なっているが、 研修成果が日常支援でど のように活用されているか の確認が求められる。	外部研修に参加した職員 が勉強会で講師となり、研 修の成果を発表すると共 に、研修の成果を日常支 援の中でどのように取り入 れるかを皆で話し合う。そ の後は研修に参加した職 員、主任が中心となり、状 況を会議の場で発表し、研 修の成果を職員間で共有 していく。	1 実施済み 2 実施予定 (令和元年12月ごろ) 具体的には以下のとおり です。 勉強会での発表や、日常 支援への取り入れをどの ように行うか今後検討す る。	1 実施済み (令和元年8月) 具体的には以下のとおり です。 外部研修参加の支援員2 名が勉強会で講師をし、研 修成果取り入れは主任を 中心に利用者を具体的に あげ取り組んだ。
職員応募 について	求人広告、就職フォーラム 等への参加、学校への求人 票送付等行ってきたが、 思うような成果が得られ ていない。将来の人手不足 を見据えて「来て欲しい職 員」の掲載等、具体的な募 集の再検討が必要。	効果のある求人方法とさ れている、ハローワークの 活用を中心とした求人活 動を行う。また、求人票に 記載する職場の魅力、求め る人物像等、求職者の目 に止まるものになるよう 工夫する。また、並行して 職員による紹介制度の導 入の検討を進めている。	1 実施済み 2 実施予定 (令和元年12月ごろ) 具体的には以下のとおり です。 4月よりハローワーク等 の求人票について工夫を 行った。職員による紹介 制度について今後検討を 行う。	1 実施済み (令和元年10月) 具体的には以下のとおり です。 職員採用実績としてハロ ーワーク7名、職員紹介3 名が採用に繋がった。職 員紹介制度については制 度を設け4名利用した。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とくきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。